

取 組 方 針

金沢塗装工業株式会社は、建設現場において塗装工事の施工を行っていますが、環境保全に取り組むことが地域社会を構成する企業としての責務であることを認識し、住みよい社会と豊かな自然を将来世代に伝えるために、以下の取り組みを推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギー化
- ② 省資源（紙使用量の節減、節水）
- ③ 廃棄物の削減とリサイクルの推進

平成29年2月20日

金沢塗装工業株式会社

代表取締役 久野 隆司

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一	二酸化炭素の排出量（売上高あたり）を、28年（201kg-CO ₂ /百万円）を基準として30年までに（190kg-CO ₂ /百万円）に削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 事務室の空調温度の適正化（冷房時 28 度、暖房時 20 度） ② 昼休み消灯 ③ 人のいない部屋の消灯 ④ 使用していないパソコンはスリープ機能を活用 ⑤ コピー機の節電機能活用 ⑥ 社用車の空調温度を適正温度にする ⑦ タイヤの空気圧をチェックを頻繁にする ⑧ エンジンオイルの走行距離 5000 km ごとに交換する ⑨ 相乗りを推奨する ⑩ 現場に向かうルートを吟味する ⑪ 使用していないコンプレッサーは完全静止する

目標二	産業廃棄物の排出量（売上高あたり）を、28年（3.6 t / 百万円）を基準として30年までに（3.4 t / 百万円）に削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 使用塗料の共通化 ② 金属くずはリサイクルする

目標-3	コピー用紙の使用量（売上高当たり）を、28年（2kg/百万円）を基準として30年までに1.8kg/百万円に削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 両面印刷、両面コピーの徹底 ② 資料のデーター化を進める ③ 使用済み用紙の裏面を使用する

目標-4	水使用量を、28年を基準として30年までに5%削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 水道蛇口をこまめにしめる ② 手洗い場に節水を呼びかける標語を掲示する

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、社長を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。